

科 目 名	SS 化学 α	理数科・必修 1年次・2単位
目 標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。	
位 置 づ け	次年度以降の選択「化学」につながるだけではなく、化学的な考え方を日常の場面でも利用できるようになる事が必要です	

■使用する教材

- ・教科書
- ・問題集
- ・プリント ほか

■学習する単元とおおよその時期

- ・物質の構成、物質の構成粒子【4～5月】
- ・物質の構成粒子、化学結合【6～9月】
- ・物質量と化学変化、酸と塩基【10～12月】
- ・酸と塩基、酸化還元反応【1～2月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

授業では、新しく出てくる専門用語や理論を理解し、問われていることを正確に把握する。次の時間に進むことが予想される部分の予習をしておくことが望ましいが、授業後の復習や類題演習を十分に行うこと。

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 化学の特徴について十分理解しているとともに、自分の言葉で説明することができる。実験などに関する基本操作や記録などの技能をきちんと身に付け、その役割を理解している。	問題を見いだし見通しをもって取り組むことができ、科学的に考察している。自身の考えをまとめ、周囲と共有し考えを深めることができる。	化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、しっかりと科学的に探究しようとしている。
	B 化学の特徴について理解している。実験などに関する基本操作や記録などの技能をきちんと身に付けている。	問題を見いだし取り組むことができる。自身の考えをまとめ、周囲と共有することができる。	化学の特徴に関する事物・現象について、振り返り、科学的に探究しようとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、小テスト、実験課題の提出内容	定期考査、小テスト、実験授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題の提出状況

■自己評価について

授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。

- ・生徒自身が3観点について、振り返る
- ・生徒自身の取り組み方について